

「地域連携サポートプラン」の提案書を交付しました。

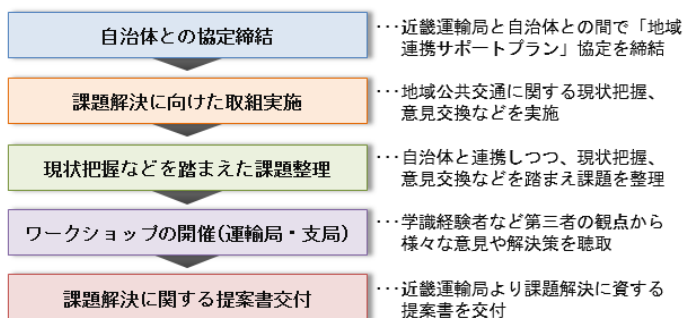
(近畿運輸局)

近畿運輸局では、地域に深く踏み込みながら、地域公共交通に関する課題解決を積極的に後押しする「地域連携サポートプラン」を開始しました。

これまでに6つの地方公共団体に対して課題解決の方向性を示した提案書を交付しており、これからも継続的に支援することとしています。

地域連携サポートプランの概要・提案書は、以下のホームページに掲載しております。

<https://www.tb.mlit.go.jp/kinki/kansai/program/supportplan.html>



【提案の概要】

●滋賀県東近江市

- ・ 鈴鹿十座の登山客へのバス交通の提供等、豊かな観光資源を活かした公共交通の新たな需要創造
- ・ 自動運転技術の公共交通への応用に向けた検討

●和歌山県橋本市

- ・ 民間バス路線、コミュニティバス、病院無料バスの競合解消
- ・ モビリティ・マネジメント等、利用者である地域住民の理解と行動を促す取組の実施

●奈良県宇陀市

- ・ 奥宇陀線の3市村（宇陀市、曾爾村、御杖村）連携によるバス交通の維持
- ・ スクールバスの有効活用



●大阪府大東市

- ・ 東部地域の新たな公共交通サービス導入に際しての実証運行実施
- ・ 地域公共交通網形成計画の策定に向けた検討



●大阪府河内長野市

- ・ モビリティ・マネジメントや観光施策と連携した事業の展開
- ・ 高齢者に配慮した交通サービスの充実（「知ってもらう」「使ってもらう」「考えてもらう」）

●兵庫県淡路市

- ・ 淡路島内3市（淡路市、洲本市、南あわじ市）が連携した地域公共交通網形成計画策定に向けた検討
- ・ 既存のネットワークにとらわれない交通結節点の再設定等による交通ネットワークの最適化